

技術士への道

2012/02/20

1. 技術士試験プロローグ

工事種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
技術的体験論文原案	←											
願書作成提出												
論文の骨格作成												
原案作成と添削依頼												
完成論文の手書き練習												
当該年度の問題予測と対応												
二次試験												
試験論文復元												
技術的体験論文の作成												
技術的体験論文の提出												
口頭試験シナリオの作成												
音読練習												
口頭試験												

- ① 年間のスケジュールは、表の通りであり、1年のスパンで行われる。つまり、仕事や家族の行事への影響があり、それらへの影響を覚悟しての受験となる。
- ② したがって、挑戦にあたっては周囲に受験を宣言し、周囲に受験の理解を促すことをお勧めしたい。
- ③ どの部門も重要視していただきたいのが技術的体験論文への対応である。これは、技術士受験の基本中の基本と私は考えている。4月に入って願書提出の後、慌ただしくなるため、3月中の原案作成を進めたい。
- ④ 私の初挑戦は、平成18年度で、まだ技術的経験論文が試験科目にあった時で、これの対応に大半の時間を割いた。そのおかげで、人に理解させる文章作成が身につき、必須科目や専門論文の作成が楽であった。これ以降、技術的経験論文重視を貫いている。
- ⑤ 連休前から一般論文の作成にとりかかる。過去問から書きやすいものを2つ程選んで自分なりに作成する。それを先輩技術士にお願いして添削してもらう。その際合格点ももらうまで同じ論文を何度でも添削してもらうこと。途中で安易に次の問題にとりかからないほうがベター。
- ⑥ 一般論文の作成と併行して専門の準備にとりかかる。5月から各分野の白書が次々に創刊されるので内容を吟味し、過去問と照らしあわせてキーワードを拾っておく。5月中旬からこれらを使って一般論文と同様に過去問にとりかかる。

-以上- 次回は願書作成編